

平成29年度M I E職員カアワード 受賞取組概要

【改善活動分野】

募集部門	部局名	活動テーマ	グループ名	取組概要（応募用紙より抜粋）
協創推進部門	教育委員会	確保してます食糧・三角巾 農芸におまかせください！避難所運営	三重県立四日市農芸高等学校	<p>本校の防災訓練は、炊き出し訓練、三角巾包帯法訓練を実施しているが、農業及び家庭科を設置する専門高校として、災害時の地域貢献のあり方を検証することが課題であった。</p> <p>これまで学校農場で収穫した玄米を災害備蓄米として保管しており、今年度の炊き出し訓練は、備蓄米を使って、初めて地域住民と共同で実施した。地域住民は炊き出ししたごはんには本校商品のマコモだけカレーをかけて、カレーライスとして試食した。また、救急法救急員の資格を所持する生徒が、全校生徒と地域住民に三角巾包帯法の講習を実施した。</p> <p>さまざまな地域連携活動を通して、全校生徒と教職員が積極的に地域貢献する姿勢を育むことができ、地域との絆を強め、「地域に愛される学校」だけでなく、「地域に頼りにされる学校」に発展する可能性が膨らんだ。</p>
職員力向上部門	出納局	《必ず役に立つ！》はじめて経理事務担当者になった時に読む本	少人数職場における会計事務職員ハンドブック作成WG	<p>出納局が検査指導を行うなかで、指導事項（事務のミス）とした件数は、学校など少人数職場ほど多い傾向にあり、身近に相談できる人が少ないことが一因とされた。</p> <p>そこで、初めて会計事務に従事する職員をサポートするためのハンドブック作成を目指した。</p> <p>まず、初任者は何が分からないのか、何を知りたいのかを明確にするためのアンケートを実施し、必要な項目・内容について検討した。執行何から支払までを項目別に細分化したほか、難しい会計用語の解説を充実させるなどの工夫を凝らした。</p> <p>その結果、できるだけ専門用語を使わず、分かりやすく、ストーリー仕立てで楽しく学べ、この一冊があれば安心して会計事務を進めることができるハンドブックが完成した。</p>
ワーク・ライフ・マネジメント部門	総務部	『県税職員のための時短パソコン術』のメルマガ連載	税務企画課 企画班	<p>働き方改革が求められる中、各職場においてワーク・ライフ・マネジメントの推進、業務の効率化、生産性向上が課題となっている。</p> <p>あらゆる業務でパソコン操作が必要となることから、ショートカットキー等のパソコン術の活用は勤務時間縮減に有効であると考え、県税職員向けのメルマガの中で気軽に読めるコーナーとして連載を開始した。なかでも日常業務の中で使用頻度の高いワザ（Ctrl+Cなど）に絞って、先輩・後輩職員の対話形式でわかりやすく紹介した。</p> <p>一つ一つのパソコン操作はわずか数秒の短縮だが、税務部門全体では年間で相当な時間短縮につながると考えられる。</p>
成果向上部門	防災対策部	緊急指令！25年使ったヘリコプターを1億円以上で売却せよ	大空の航空隊	<p>日本一古い消防防災機（JA6703）として、往年の活躍と日本の技術力を結集させて維持してきた機体が、性能の向上と装備の近代化の中で引退となり、売却を命じられた。</p> <p>平成27年の更新決定当時、国内の中古ヘリ市場は買い手市場で、しかも配備した基地は海に近く、塩害による錆が懸念され、バイヤーは見向きもしなかった。</p> <p>そこで、ヘリのバイヤーを巻き込むため、まず三重の基地に招く、次に機体の管理状態の良さを実感する、そして販路となる国外需要の情報を得ることに注力を注いだ。加えて、機体は整備が行き届き、装備品が充実していてあらゆるミッションに対応できることをアピールし続けた。</p> <p>5社が応札し、売却額は誰もが予想しなかった1億8千万円超で落札決定。しかも、落札した業者や次のオーナーからは、引き渡しまでの管理の良さに感謝の言葉をいただいた。</p>

自由テーマ部門	県土整備部	地域住民が土木工事に興味・関心を持つような回覧文の作成	四日市建設事務所 プロジェクト推進室 高規格道路課	<p>一般国道477号四日市湯の山道路改築事業は、工事を滞りなく安全に進めていくために、工事説明会や現場見学会等を実施し、地域住民と密に関わり理解を深めていただいている。しかし、これらは特定の住民に対してのみであり、あまり理解いただけない住民からの苦情が多々あった。</p> <p>そこで、より多くの地域住民に土木工事を理解いただくため、老若男女問わず多くの住民が目にする回覧を用いることとした。土木工事の施工前や交通規制が生じる際に、回覧により住民に周知することは、他の工事現場でも実施されているが、今回は長期的に理解いただく必要があるため、月に一度の地域の回覧に合わせて、毎回、工事の進捗や土木の豆知識等を掲載した。</p> <p>その結果、多くの地域住民に関心を持ってもらうことができ、それが工事への理解、協力につながり、苦情の電話の件数も減った。</p>
---------	-------	-----------------------------	---------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【グッドパフォーマンス分野】

推薦部門	部局名	推薦テーマ	グループ名	推薦理由（応募用紙より抜粋）
ピカイチ部門	県土整備部	員弁川雑木伐採プロジェクト	桑名建設事務所管理課	<p>管内を流れる三重県下最大の2級河川である員弁川に自生し、流水の阻害となっている雑木の伐採を、事務所職員が中心となって市民や関係団体に参加を呼びかけ、一緒になって作業を行った。また、本来なら廃棄処分となる幹を“薪”として市民の皆様にも有効利用していただいた。本取組は、市民にも好評で「次回はいつ？」との問い合わせもあり、今後も継続して行う予定。「みんなでまちを守りたい」との想いのもと、市民との協創の一例として推薦する。</p>
モハン部門	総務部	恐れず全体最適を目指す	総務部福利厚生課健康支援班	<p>事務の効率化を進めるにあたっては、会議などのための移動に割く時間が大きな障害となっている。福利厚生課は、他の多くの課・機関が二の足を踏むなか、率先してビデオ会議システムにより会議を開催した。同課にとって初めてのことであったが、地域機関の声に迅速に対応し、短い時間で開催に漕ぎ着け、円滑な運営を果たした。こうした先取の姿勢は、今後ますます効率的でタイトな執務管理が必要となる全ての職場の模範となるものと考えます。</p>
コツコツ部門	地域連携部（伊賀）	失敗はK A I Z E Nのもと	伊賀庁舎 旅券コーナー（伊賀地域防災総合事務所地域調整防災室総務生活課）	<p>旅券発行手続きは規定が細かく、申請者からわかりにくいとの声がある。これをサービス向上の好機と捉え、伊賀旅券コーナーはお客様視点で業務の見直しに取り組むようになった。</p> <p>一昨年は手続きインフォメーション、昨年は写真見本に手を加え、トラブル対応データベースも作成したことに加え、今年はタウンページの掲載方法を変え、見やすくした。</p> <p>接遇研修を欠かさず受講し、お客様へのサービスに磨きをかけた結果、平成29年度の接遇・サービスアンケートで庁舎内トップの評価を得た旅券コーナーの取組を推薦する。</p>